



柴公也教授

## 柴 公也教授 略歴

### 学 歴

- 1968年 4 月 東北大学文学部入学
- 1972年 3 月 同 言語学科卒業
- 1978年 4 月 東北大学文学部聴講生入学
- 1979年 3 月 同 修了
- 1979年 4 月 東北大学大学院文学研究科言語学専攻博士前期課程入学
- 1981年 3 月 同 前期課程修了〈文学修士〉
- 1981年 4 月 東北大学大学院文学研究科言語学専攻博士後期課程進学
- 1987年 3 月 同 後期課程単位取得満期退学
- 1989年 3 月 韓国中央大学校大学院文学研究科韓国語学専攻修士課程入学
- 1991年 2 月 同 修士課程単位取得終了

### 職 歴

- 1972年 4 月 (株) 日本図書クレジット入社
- 1974年 3 月 同 退職
- 1974年 4 月 (株) 日本EDP入社
- 1978年 3 月 同 退職
- 1982年 9 月 韓国釜山大学校日語・日文学科講師
- 1985年 9 月 同大学校 退職
- 1987年 4 月 (財団法人) ラヂオプレス入社

1988年2月 同 退職

1988年3月 韓国中央大学校日語科講師

1994年2月 同大学校 退職

1994年4月 熊本学園大学外国語学部専任講師

1995年10月 同 助教授

2003年4月 同 教授

2005年9月～2006年2月 中国 延辺大学中朝韓日文化比較研究センター客員研究員

2020年3月 同 定年退職

### 所属学会及び学会活動

1981年～現在 朝鮮学会会員

1994年～現在 韓国国語学会会員

### 研究業績

#### 〈著書〉

1990年1月 『独学旅行日本語会話』（共著）進明出版社（韓国・ソウル）

2008年2月 『日・韓文法の対照言語学的研究』（単著）日本語バンク出版社（韓国・ソウル）

#### 〈学術論文〉

1981年1月 「日・英語の受動態の対照研究—利害の受け身をめぐって—」（単著）  
東北大学大学院文学研究科言語学専攻修士論文

1986年7月 「漢語動詞の態をいかに教えるか—韓国人学生に対して—」（単著）  
『日本語教育』第59号 日本語教育学会

- 1992年5月 「『が』と『は』の誤用について—『이,가』と『은,는』の対照研究—」  
(単著)『日本学報』第28輯 韓国日本学会
- 1992年6月 「『漢字語+시키다』에 대한 研究—再帰性・他動性・使役性・受動性과의 關係를 中心으로—」(単著) 韓国中央大学校大学院文学研究科韓国語学専攻修士論文
- 1992年7月 「『漢字語+시키다』について—再帰性・他動性・使役性・受動性との関わりをめぐって—」(単著)『朝鮮学報』第144輯 朝鮮学会
- 1993年6月 「格助詞の誤用について—誤用の実態とその処方めぐって—」(単著)『古岩 黄聖圭博士 華甲記念論文集』(単著) 古岩 黄聖圭博士 華甲記念論文集刊行委員会
- 1993年11月 「『~테일』の意味と用法について—対応する韓国語の表現との対照研究—」(単著)『日本学報』第32輯 韓国日本学会
- 1994年11月 「『~(으) 면서』の意味と用法について」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第1巻第1・2合併号
- 1995年4月 「『~다 보니까』の意味と用法について」(単著)『朝鮮学報』第155輯 朝鮮学会
- 1995年6月 「『~면서』と『~ながら』の対照研究—[時間]の『~면서』と[持続]の『~ながら』をめぐって—」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第2巻第1号
- 2000年6月 「『~았었어』の意味と用法について」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第7巻第1号
- 2000年12月 「現代韓国語の接続形『~거든』の意味と用法について」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第7巻第2号
- 2001年6月 「『~느라 (고)』の意味と用法について」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第8巻第1号
- 2001年12月 「[予感]の『~느라 (고)』をめぐって—その意味的・統語的特性について—」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第8巻第2号

2002年6月 「『一길래』の意味と用法について」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第9巻第1号

2004年7月 「『一기에』の意味と用法について」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第10巻第2号・第11巻第1号合併号

2007年9月 「中国延吉市の朝鮮族学生の朝鮮語－韓国語と対照した語彙的・文法的特徴について」(単著)『海外事情研究』第35巻第1号 熊本学園大学付属海外事情研究所

2007年12月 「『一기 때문에』の意味と用法について」(単著)『熊本学園大学文学・言語学論集』第14巻第2号

2016年4月 「現代韓国語の接続形『一고 보니까』の意味と用法について」(単著)『朝鮮学報』第239輯 朝鮮学会

〈学会発表〉

1998年11月 「『[予感]の『～니라 (고)』について」(単著) 朝鮮語研究会第149・150回記念大会；東京外国語大学

1999年10月 「『一고 보니까』の意味と用法について」(単著) 朝鮮学会第50回大会；天理大学

〈資料〉

2017年4月 「延辺朝鮮語対話資料(延・韓対訳編)」(単著)『韓国語学年報』第13号 神田外語大学韓国語学会

〈報告〉

2011年9月～2019年3月 「日本統治時代の台湾生活誌(Ⅰ～ⅩⅣ)」『海外事情研究』第39巻第1号～第47巻 熊本学園大学付属海外事情研究所